

# 米国の核先制不使用宣言

## 官房長官、反対の考え方

松野博一官房長官は10日の記者会見で、日本や英仏などがバイデン米政権に対し、「核兵器の「先制不使用」を実現しないよう水面下で働きかけていく」との一部報道について、「わが国の安全保障に關わる」という事柄の性質から、「現在の安全保障に対する反対する考

り、答えは差し控えられる」として、明言を避けました。

その上で、「一般論として、全ての核兵器が検証可能な形で同時に依存し、日本の安全保障に十分を期すことは困難と考えている」と述べ、事実上、米国による核の先制不使用を反対する考

えを示しました。

松野氏の発言は、岸田政権は「核兵器のない世界」をめざしながら、米国の核抑止にしがみつき、状況によつては核先制攻撃まで容認する考え方を示したもの